



静岡県立 科学技術 高等学校

2024 学校案内

目指せ!! 理系のスペシャリスト



開校から16年 理系高校としての着実な歩み

理系のスペシャリストを育成するために、平成20年に創られた理数科と工業科をもつ新しいタイプの学校です。創造力の育成、課題解決能力の育成、人間力の育成を三つの柱とし、日本の未来を創ることができる「ほんものの力」をつけることを教育方針としています。そのため、実験・実習を通して培われる理系の本物の感性を育てることを大切にしました。工業科はさらに専門性の高い小学科を設置し、県内の科学技術者の養成のみならず、グローバルな感覚をもった世界で活躍できるスペシャリストの育成を目指しています。

高い進学実績 全国公立工業系高校トップクラス

本校は専門高校でありながら高い進学実績を残しています。理数科はほぼ全員が進学します。令和4年度は、国公立大学に、理数科30名、工業科31名が現役で合格しました。国公立大学61名は、全国の工業系の公立高校ではトップクラスです。地元静岡大学には工学部を中心に毎年多くの生徒が合格しています。

就職率は100% 公務員にも多数合格

就職希望者に対する求人数は、過去3年間約6～8倍を維持しており、多くの企業が本校に期待してくださっています。したがって、開校以来就職率は100%です。



恵まれた環境 充実の設備!もちろん空調も!

広大な敷地に、5階建ての普通教室棟・3階建ての実習棟が2棟、全面人工芝のグラウンド、全天候のテニスコート、50mプールなど、施設は全国屈指の充実ぶりです。また工業専門高校ならではの設備（電子顕微鏡や高額な実習装置）も大変充実しています。教室には空調設備もあり、快適な環境で学習することができます。その充実ぶりは全国的に見ても珍しく、他県からの見学者が絶えません。

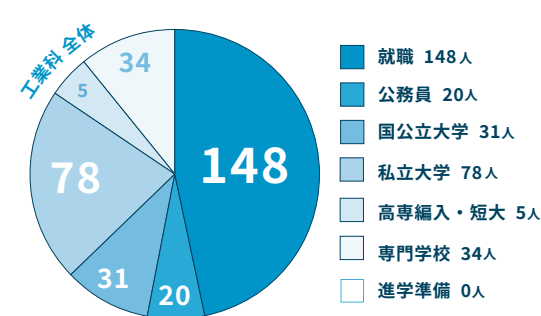
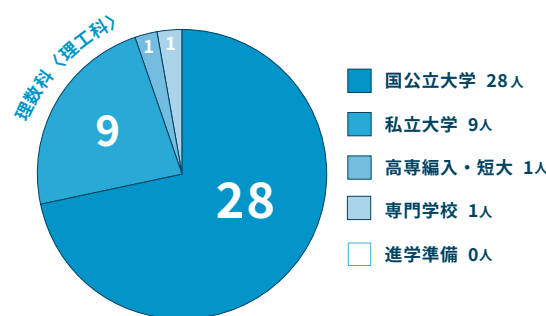
万全な学力向上対策 毎日7時間授業

より高度で専門的な学習を行うためには普通教科の基礎学力も大切です。また、実験や実習を行うためには時間が必要です。そのため、本校は開校以来1日7時間の授業を行っています。1年間で履修する単位が35単位、3年間で105単位の履修を行う公立高校は、県内でも本校だけです。

あなたの希望の進路をかなえる

《進学・就職 令和4年度進路実績》

(数字は人数)



令和4年度 卒業生の声



名古屋大学 理学部
佐野 今太 さん
(理数科卒・静岡市立清水第二中学校出身)

理数科では、工業科の実習や課題研究など他の高校にはない体験ができます。このような体験から自分の専門分野を見つけたり、進路決定や将来の展望を考えたりするきっかけになりました。また進学指導も手厚く、朝・放課後補講をはじめ、休日の補講や模試など学習環境が整っていると思いました。3年間同じクラスのため、良い友人関係を築くことができ、文化祭や体育祭などの行事にクラス全員で団結して取り組んだり、勉強を教え合ったりする機会が多かったです。共に支え合うことで受験も乗り越えられ、有意義な高校生活になりました。



中部電力パワーグリッド株式会社
北沢 昇大 さん
(電気工学科卒・静岡市立清水第七中学校出身)

高校3年間では、専門分野である「電力技術」、「電気工事」を熱心に学習して、将来に必要な知識や技術を身に付けました。電気研究部の活動では、第三種電気主任技術者や第一種電気工事士の資格試験合格を目指して部員と切磋琢磨し、1年生で第一種電気工事士に合格しました。また、ものづくりでは、仲間と協力して製作しチームワークが向上しました。電気工学科の生徒は協調性が高く、先生方も熱心で楽しく生活できました。学業に力を入れたことで、希望の電力会社に就職が決まりました。



群馬大学 理工学部
松下 真歩 さん
(物質工学科卒・島田市立島田第二中学校出身)

私の高校3年間で振り返ると、濃密な日々だったと感じています。物質工学科では、機器分析など工業と関連した化学実験の学びや、国家資格である危険物取扱者の乙種全種を取得することを頑張りました。また部活動では自然科学部に所属し、全国大会で研究発表をしたり論文を書いたりする貴重な経験をしました。これらの学校生活を通して、化学をより専門的に学ぶ大学へ進学することを決め、将来は医薬品開発に貢献できる研究をしていきたいと考えています。私が私らしく、自由に好きなことを打ち込むことができ、科学技術高校に進学して本当に良かったと感じています。高校生活に期待と不安があると思いますが、自分の夢に向かって自らの道を切り開くために頑張ってください。

スクールライフ

1日のスケジュール

🕒 鶴橋 千聖さん Tsuruhashi Chisato

建築デザイン科3年 焼津市立豊田中学校出身

授業は普通科目と建築科目を学んでいて、一週間に授業が35コマあるうちの20コマは、建築を学んでいます。三年生では建築について学ぶ機会が一・二年生の時より多くなるので楽しいです。朝は、急いで身支度をします。

6:00	7:00	8:35	12:25	13:10	16:30	19:00	20:00	23:00
起床	出発	授業	昼休み	授業	部活動	下校	帰宅	就寝



8:35 授業

普通科目と建築科目の組み合わせや、建築科目の中でのコース分けも選択できます。



13:10 授業

座学では、法規などがあり、建物を設計する上で大切になってくる建築基準法について学びます。実習は、課題研究や製図がある日など、学ぶことは様々です。



16:30 部活動

部活動は建築研究部と生徒会に入っています。建築研究部では、大学や企業から出されるコンペに参加しています。生徒会では、生徒会長として学校をまとめ、行事を行う上での企画・打ち合わせ・実行などを行っています。



20:00 帰宅

家に帰ったら、夕食をとり、課題を第一に、予習・復習など、必要なことに取り組みます。週末などには、リフレッシュのために家族で遠出することもあります。

1日のスケジュール

🕒 河村 悠生さん Kawamura Haruki

理工科2年 静岡市立東中学校出身

理工科では、普段の授業の他に、朝補講、土曜補講などがあり、自分の学力を伸ばせる機会がたくさんあります。私は運動部に所属していて、大変なことが多いですが、忙しい日々をこなしていく中で、様々な力が付きます。

6:30	7:20	7:40	8:35	12:25	13:10	16:30	19:15	23:00
起床	登校	朝補講	授業	昼休み	授業	部活動	帰宅	就寝



10:35 授業

「化学の実験」実験では普段の授業で学んだことを復習しながら、実際に物事や現象を観察したり発生させたりすることで、知識や思考力がつきます。



13:10 授業

「科学技術基礎」工業科が学んでいることを体験するという、貴重な経験ができます。



12:25 昼休み

クラスで友人と一緒に食事をします。時に学食を利用することもあります。



16:30 部活動

文武両道を目指して頑張っています。

19:15 帰宅

習い事のある日は習い事に行ったり、課題に取り組んだりしています。

数理を究め、未来の科学技術を創造しよう

理数科<理工科>

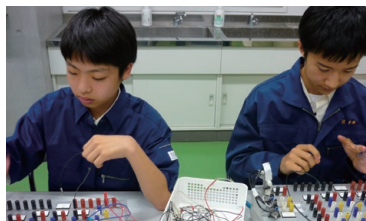


SCIENCE AND TECHNOLOGY

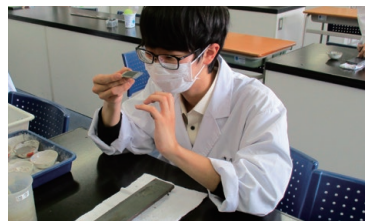
学科概要

1. 数学・理科・英語の授業時間が多い。
2. 数・理・英・国の授業は2集団で行います。
3. 工業科7科の実習が体験できる。
4. 出張授業や校外活動に参加する機会が多い。

昨年度は、39名中30名が国公立大に現役合格しました。
皆さんの『科学の芽』を育て、個々の適性を探することを支援します。



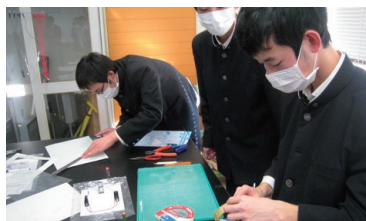
1年の科学技術基礎



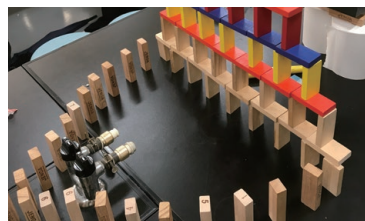
2年の理数探究



3年の科学技術応用



科学の甲子園



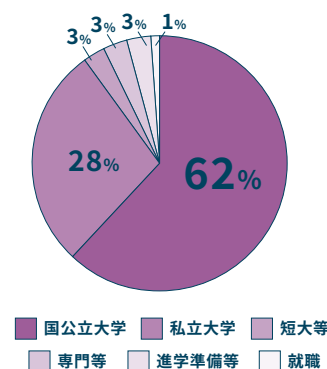
文化祭でのピタゴラ装置作り

● 取得を目指す資格

実用英語技能検定(英検) 2級、準2級
実用数学技能検定(数検) 準1級、2級

● 受検を勧める検定試験

GTEC、TOEICなどの外部検定試験



主な進学先

※理数科・工業科の主な進路先は、過去3年間の実績を示してあります

国立大学

静岡大学6・山梨大学6・東北大学4・茨城大学4・信州大学4・名古屋大学4・秋田大学3・山形大学2・金沢大学2・東京農工大学2・三重大学2・福島大学1・埼玉大学1・東京工業大学1・新潟大学1・名古屋工業大学1・鳥根大学1・広島大学1 など

公立大学

静岡県立大学7・公立諏訪東京理科大学3・富山県立大学2・滋賀県立大学2・奈良県立大学1・公立鳥取環境大学1・県立広島大学1・高知工科大学1 など

私立大学

常葉大学6・神奈川大学3・東京工科大学2・東京電機大学2・近畿大学2・立命館大学1・中部大学1・静岡産業大学1・東京国際工科専門職大学1・静岡英和学院大学短期大学部1・職業能力開発総合大学校1 など



在校生の声

理数科の自慢できることは？

工業科7学科の実習体験ができることです。様々な分野の知識や技術を学ぶため、自分のやりたいことを見つけることができ、大学選択に大いに役立ちます。2年生では2～3人でグループをつくり、およそ半年かけて自分が興味のあることを探究する活動もあります。失敗や成功を繰り返す中で、研究仲間の大切さや研究することの楽しさを知ることができます。また、授業以外にも朝補講や土曜補講などが設けられているので、先生方の手厚い指導を受けることができます。

理数科の授業で印象に残っていることは？

全ての授業で基礎知識を定着させる学習を重視していることです。例えば、英語では定期的な小テストで単語や文法知識を身につけることができます。数学や物理では、公式や原理を丁寧に解説してくれるので、応用問題も積極的に取り組むようになります。また、一部の授業は2集団に分かれて行うため先生に質問しやすくなり、理解をより深めることができます。私たちは、日々の充実した授業でより成長することができたと感じています。

(3年生 高田 吉龍 さん 富士宮市立大富士中学校出身、佐藤 蓮 さん 静岡市立大里中学校出身、深味 侑朱 さん 静岡市立末広中学校出身、古見 光平 さん 静岡市立長田西中学校出身)